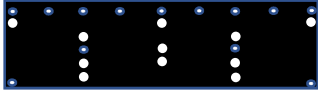











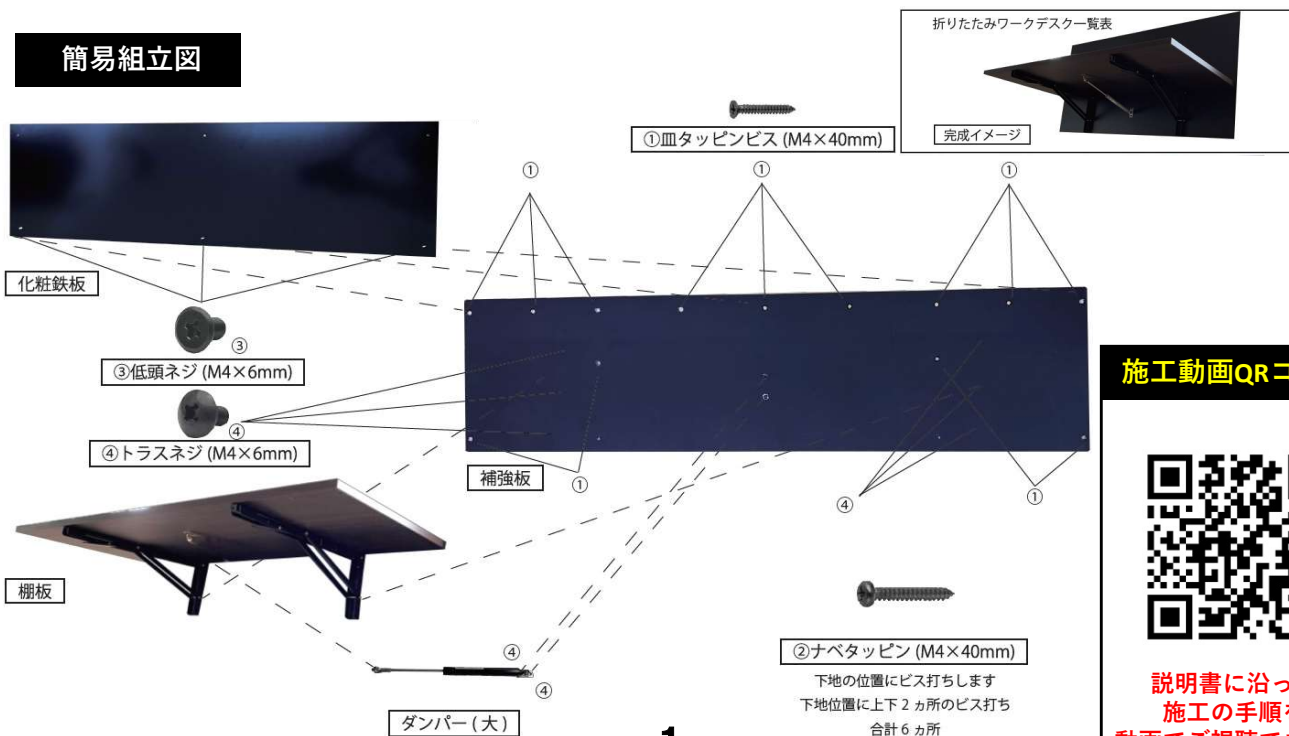
# 部品一覧表



## 部品構成表

補強板：1枚 	サイズ： 914 × 230 mm 補強板厚み：2mm
化粧鉄板（スポンジ付）：1枚 	サイズ： 914 × 280 mm 化粧鉄板厚み：0.8mm
棚板：1枚 	サイズ： 900 × 410 mm 棚板厚み：18mm
折りたたみ金具：2個（棚板取付済） 	※棚板に既に取り付けております。
ダンパー(大)：1個 受け金具：2個 	●棚板と補強板に受け金具を2個取付けた後、受け金具にダンパー(大)を取り付けます。
トグラボードアンカー12mm用：13個 	●補強板を取付する時に使用します。 ※石膏ボード厚み：12.5mm厚まで使用可
①…皿タップピンビス(M4×40mm)：13本 	●補強板を取付する時に使用します。 ネジ形状は皿です。
②…ナベタップピンビス(M4×40mm)：6本 	●補強板を下地に取付する時に使用します。 ネジ形状はナベです。 ※補強板に穴をあけた後、ビスを取付ください
③…低頭ネジ(M4×6mm)：4本（予備1本含） 	●化粧鉄板を補強板に取付する時に使用します。
④…トラスネジ(M4×6mm)：8本 	●折りたたみ金具とダンパー（大）の受け金具を取付する時に使用します。 ※ネジ形状が②ナベタップピンビスより大きいです

## 簡易組立図



## 施工動画QRコード



説明書に沿った  
施工の手順を  
動画でご視聴できます

# 施工説明書



## 【重要】取付前に必ずご確認ください

- ①920巾以下には取付できません (補強板の巾: 914mm)
- ②壁面の取付箇所にて下地が2か所以上あるか、必ず事前に下地チェッカーでご確認願います。
- ③コンセント付近に設置する場合、配線に干渉しないか下地チェッカーで必ず診断してください

確認した下地位置は補強板の下地ビス打ち時に必要なので、壁にテープ等で印をつけてください。  
下地がある箇所については、出来る限り下地にビス打ちをしてください。

## 施工手順

★ 星マーク部は施工時のポイントとなります。ご注意ください。

### 1-1 【壁面に補強板を取り付ける】

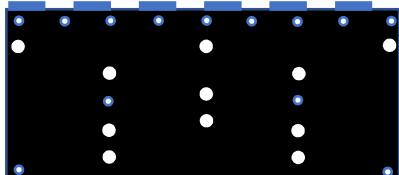
1-1から動画で確認できます⇒



トグラボードアンカー×13か所



補強板の取付高さは、補強板の上面が床から750mmの位置に設定してください。

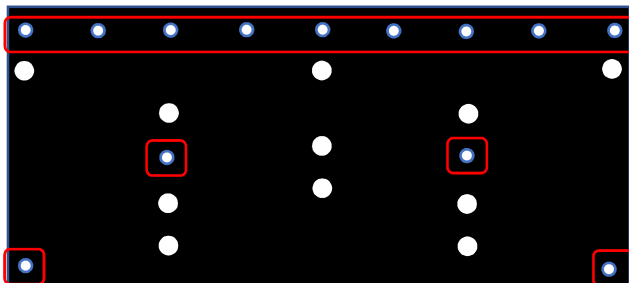


高さ位置決め箇所  
床から750mm

※コンセントカバーが床から300mm高さに設置されている場合、カバーにかからないように補強板の取付位置を調整ください



最初に中央部にビス打ち1本し、位置あわせする事をお勧めします (補強板位置ズレ防止、作業負担軽減)



- (1)補強板に水平器をあてて、壁に印を付けます (赤囲み部)
  - (2)印を付けた位置に下穴をあけて、トグラボードアンカーを取りつけます。
- ※上段9か所、中段2か所、下段2か所

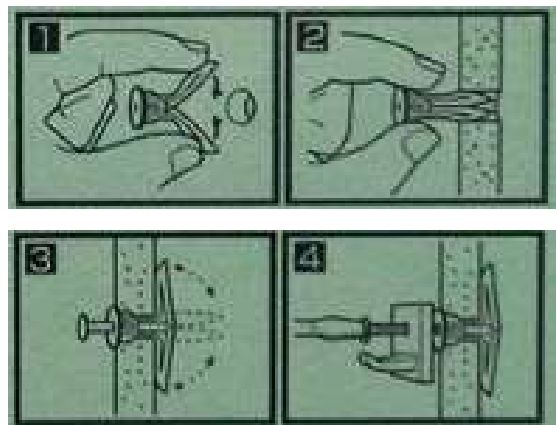


※下地にあたる場合はトグラボードアンカーは使用しません。直接①皿ビスを打ってください

## 1-2 トグラボードアンカーの使用方法

※壁の厚みが12.5mm以上に設置時は、界壁用ボードアンカーをご使用ください

- (1) 8mmの下穴を開け、トグラボードアンカーの脚を折りたたみます。
  - (2) そのまま壁の表面まで差込みます。入りにくい場合はハンマーで軽くたたいてください。
  - (3) 付属の赤ピンを差し込んで脚を開きます。ハンマーで軽く叩きこみ赤ピンの段差位置にトグラボードアンカーが入れば足が開いた状態です。
  - (4) 赤ピンを取り外し付属ビスで固定してください。
- ※壁厚が12.5mm以上ある場合は、市販の別売アンカーをご使用ください



(3)取り付けたトグラボードアンカーに①皿タッピンビスを打ちます

①皿タッピンビス(M4×40mm)×13か所

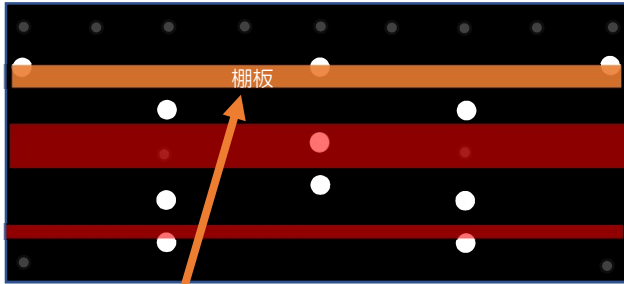


# 施工説明書

## 2 【補強板の下地位置へのビス打ち】 2 から動画で確認できます⇒



②ナベタッピンビス(M4×40mm)×6か所



- (1)下地位置を確認したら、ビス打ち箇所にもスキミングテープで印を付けます。
- (2)位置決めした印に穴をあけ、下地位置2列以上に上下2ヶ所の②ナベタッピンビスを打ちます。

【上ビス】下部より170mm以下位置

【下ビス】下部より20mm位置

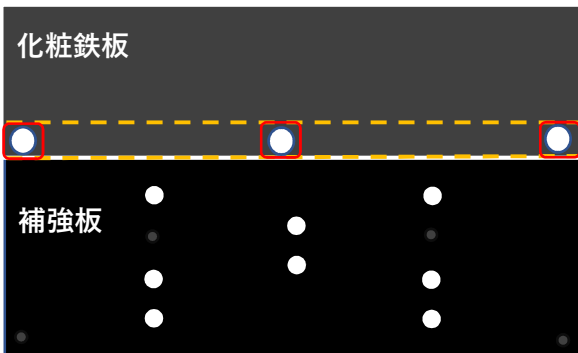


棚板付近(下部より170mm)にビス打ちすると棚板とビスが接触し干渉する恐れがあります

## 3 【壁面に化粧鉄板を取り付ける】 3 から動画で確認できます⇒



③低頭ネジ(M4×6mm)×3か所



重なり幅  
44mm

※化粧鉄板が補強板の上に重なるように取付けてください

スポンジの両面テープを剥がし、先に軽くネジ止めを3本した後に、両面テープを均等に加圧ください。

断面図

- (1)化粧鉄板裏面スポンジの両面テープは貼付け前に剥離紙を剥がして施工してください。
- (2)補強板の上に化粧鉄板を乗せた上で、補強板のM4ミリ穴の3か所に
- ③低頭ネジ3本でネジ止めします。

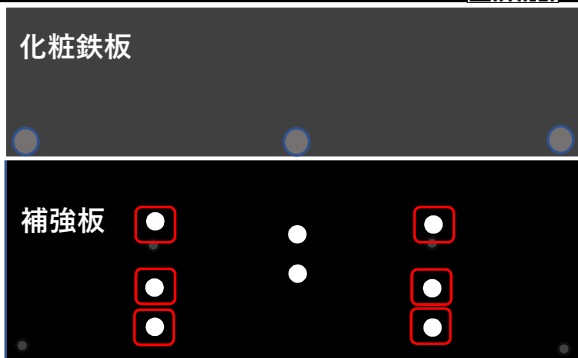


※取付時は両面テープがついていない箇所を手で持ち、両面テープで加圧する前に化粧鉄板の中央部の穴と補強板の中央部の穴をあわせてネジ止めしてください  
③で3カ所ネジ止めした後に両面テープの加圧をして下さい、

## 4 【補強板に棚板を取り付ける】 4 から動画で確認できます⇒



④トラスネジ(M4×6mm)×6か所



【折りたたみ金具の取付調整】  
棚板の昇降で硬かったり・音鳴りする  
場合、付属ネジで本締めする前に  
ネジ3本の位置調整し取付ください



- (1)棚板についている折りたたみ金具を補強板の穴位置に合わせます
- (2)補強板に折りたたみ金具を左右各3本、6か所に④トラスネジでネジ止めします

※補強板のネジ穴と折りたたみ金具のネジ止め穴は、棚板の水平調整含めクリアランス設けています

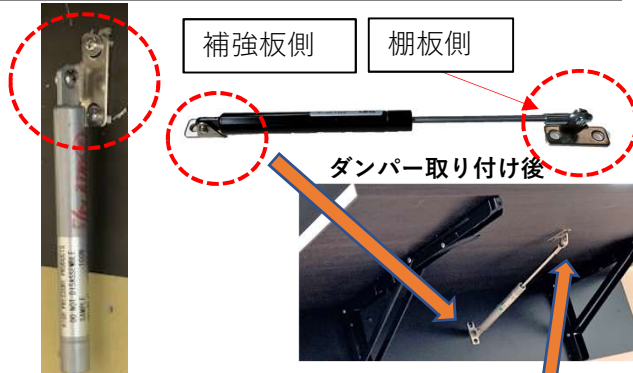
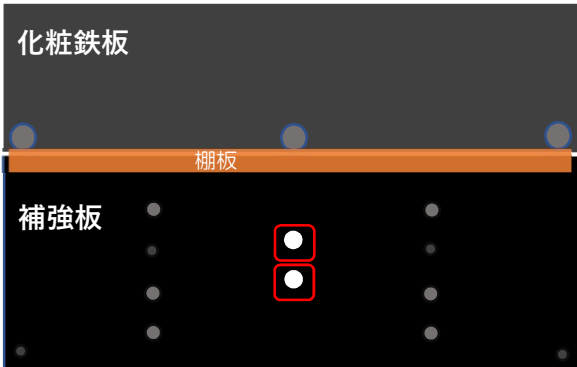
# 施工説明書

## 5 【補強板と棚板にダンパー大を取り付け】

5から動画で確認できます⇒



④トラスネジ(M4×6mm)×2ヶ所



- (1)補強板にダンパー(大)を④トラスネジでネジ止めください
- (2)棚板に付いている受け金具にダンパー先端の端子を受け金具ネジで固定してください  
※ダンパー(大)に受け金具ネジをテープ止めしています

②穴位置に取付



ダンパー(大)先端の端子と受け金具のネジ穴位置があわない場合、端子を緩め受け金具の穴位置調整ください

## 6 最終チェック

動画で確認できます⇒



- (1)棚板を折りたたむ時に、ダンパー(大)の昇降効果(スローダウン)を確認してください。
- (2)棚板と補強板の両端の著しい隙間がないか確認してください。
- (3)化粧鉄板と補強板は、隙間なくしっかり固定されているか確認してください。  
※化粧鉄板は汚れたり変形した際、交換パーツとして取り換え可能です(有償部品)



棚板の折りたたみ昇降がスムーズでない場合  
補強板側の受け金具の取付位置をビス調整してください

## 完成写真



### 【補修・交換部品について】

【棚板】 【化粧鉄板】 【ダンパー大】  
【折りたたみ金具(左,右)】 部品取扱い可能(有償部品)

【お問い合わせ先】

昭和有機株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-9-8

TEL:03-6866-0375